

令和8年7月9日
(独)家畜改良センター熊本牧場

「令和8年度超音波検査技術高度化研修会」を開催しました

令和8年7月2日に(独)家畜改良センター熊本牧場において、一般社団法人日本家畜人工授精師協会と(独)家畜改良センター熊本牧場の共催により初心者対象の超音波検査技術高度化研修会を開催しました。

全国5カ所、北は和歌山県、南は沖縄県から計9名の方がご参加され、講師には国立大学法人鳥取大学農学部の西村亮准教授をお招きしました。

午前に講義、午後に実習を行い、講義では超音波画像の読影法やプローブの扱い方等について、初心者にも分かりやすく説明いただき、参加者からの質問にも先生のご経験を交えながら丁寧にご回答いただきました。実習では発情期の牛に対し、卵巣や子宮の状態を確認し、妊娠期の牛に対して妊娠診断を行いました。

参加者の方からは「超音波検査の基礎を知ることができ、非常に勉強になった」、「最新の超音波診断装置を使用することができ、良い経験になった」、「学んだことを実践し、技術を磨いていきたい」等、ご好評いただきました。



写真1：開会の挨拶



写真2：講義



写真3：超音波診断装置の説明



写真4：超音波検査実習